

令和6年度「多摩テレビ放送番組審議会」議事概要

日 時	令和7年2月5日(水) 14時00分～		
会 場	パルテノン多摩 4階 会議室 3、4		
出席者	出席委員 今原 淳夫 委員 (会長) 4名 高橋 豊 委員 竹中 良介 委員 橋場 万里子 委員 欠席 中村 その子 委員 3名 長崎 健 委員 須田 亮太 委員	事務局 代表取締役社長 齋藤 健治 常務取締役 神崎 龍治 執行役員 (技術等担当) 久保 明 執行役員 (制作担当) 川那子 進一 総務部長 北澤 広樹 技術部長 渡邊 穰 営業部長 小谷田 弥 制作部マネージャー 小林 心	
議 事	(1) 審議事項 放送番組基準の変更について (2) 多摩テレビの現況 (3) 今年度のコミュニティチャンネル (地域情報番組) の取組 (4) 自主制作番組のビデオ視聴及び意見交換 (5) その他		
<p>委員からの意見</p> <p>(1) 放送番組基準の変更について <特に質疑なし></p> <p>(2) 多摩テレビの現状 <特に質疑なし></p> <p>(3) 今年度のコミュニティチャンネル (地域情報番組) の取組 <特に質疑なし></p> <p>(4) 自主製作番組のビデオ視聴及び意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見ごたえのある番組が多いという感想を持った。「探検カンパニー」は非常に感銘を受けた。人に焦点を当てる、そして地元テレビ局ならではの丁寧な取材で、小さなお店などに対しても、ちゃんと枠を取って出せるところが多摩テレビの強みではないかと感じた。 ・ネットと連携して、テレビへ誘導する方法もいいアイデアと感じた。地域の身近なニュースを取り上げていて、「行ってみたい」「参加してみたい」という思いに繋がったら良い。地域の方の頑張っている様子を通して元気づけられ、希望を持てるニュースなどが含まれていて地域を好きになれる、愛着を持てる番組を作られていると感じた。 ・情報番組としてもいいと感じた。新しい入居者の方が地域を知るために、地元の事業に参加する方が増えているが、多摩テレビで紹介しているいろいろな番組は、そういった方たちが欲しい情報だと感じるので、PRをもっとしていくことでニーズがより増えるのではないかと感じた。 ・来年度はちょうど戦後80年になるが、番組作りなど特に何か考えているのか? もし何かされるのであれば、語れる人が減ってきているので、そういう方の声を記録するのも貴重な資料となるので、余地があれば検討していただきたい。 <p>↳【事務局】</p> <p>PRについては積極的にやっていきたい。 戦後80年について、直近での予定は特にないが、過去 戦後70年の際に、近隣の局と連携をして (その時は八王子市域だったが) そういった内容を取り上げた。</p>			

- ・「ぶらたま」について、細かい紹介の際のテロップ表示の時間が少し短く感じた。テレビを視聴する人が割と高齢者が多くなっているため、少し長めの方がいいように感じた。
- ・地域のコミュニティ、イベントなど取り上げているのはとてもいいと感じた。町田では、今年から地元アーティストの登録制度を始めた。まだメジャーになっていないアーティストなど多くいるので、そこにスポットを当てていくのも面白いのではないかと感じた。スポーツやアーティストと市民が繋がったコミュニティは、これからの街の強みにもなると思うので、その辺りも考えていただけたら嬉しい。
- ・これから育つアーティストが、多摩テレビ発で大ブレイクすると非常に楽しみになりますね。
- ・いろいろな切口で、いろいろなコンテンツを紹介していて見応えがあった。
- ・各番組バラエティーに富んだ紹介をしていると感じた。探検カンパニーであれば、人にスポットを当ててその人の人生や思いが伝わる番組作りを一貫していると感じた。スポット、スポットで紹介するだけにとどまらず、将来的には点を繋いでいくような、いろいろな思いを持った人々を繋いでいき、新しく何かを生み出すことが出来るともっと面白いのではないかと感じた。南大沢（私どもの文化会館）でも、いくつかの青少年団体の皆さんが集まって、それぞれに活動するのではなく、総合的な音楽祭を開催する。いろんな人たちが集まることによって新たな価値が生まれることにもなる。そういう視点も番組に生かすと面白いのではないかと感じた。
- ・素晴らしいコンテンツがいっぱいあり、番組で流すだけではもったいないと思うので、YouTubeなども活用して発信していくと良いのではないかと感じた。
- ・まずは、私ども委員の意見に真摯に耳を傾け、番組作りにも反映させていただき、心より感謝します。
- ・地域のケーブルテレビ会社として、地域のニュース、情報、イベント、お祭り、地域スポーツ、地元の学校教育、商店街、地元企業、そして地域の歴史・文化、防災、地域安全と多岐に渡りしっかりと取り組まれていることに、敬意を表したいと思います。
- ・提言としては、この多摩ニュータウンもかなりシニア層が増えてきているので、シニアにターゲットを絞った情報発信、趣味や娯楽など、例えば囲碁や将棋、あるいは麻雀、書道、フラワーアレンジメント、合唱、ダンスなど、参加しやすい情報発信があるといいのではないかと感じました。
- ・また、地域参加について、地元の中学生や高校生、大学生に番組の裏方として参加してもらい、一緒に番組作りをするなど、体験型もあるといいと思います。

以上